

## 第 78 期第 3 回男女共同参画推進委員会議事録

日 時： 2022 年 12 月 15 日(木)14：00～16：00

場 所： オンライン会議 (Zoom)

参加 (略敬称)： 門、肥山(14:30 から 30 分ほど中座、15 時 20 分までの出席)、板橋、岩崎  
(途中退席)、大畠、所、野中、浜口、服部、板倉 (途中参加、途中退席)、中本 (途中退席)、  
細越、野尻 (議題 5 のみ)、小林 (14:40 から出席)

欠席 (略敬称)： 市川、永江、溝川

議事：

### 1. 男女共同参画学協会連絡会 (2022/10/8 シンポジウム参加報告：浜口委員)

シンポジウム参加の報告がされた。ポスター発表は、オンライン講演が立て込んで時間が押したため、ポスター発表が昼食時間と重なってしまい、あまりやりとりなどはなかった。参加した感想として、弁護士会の方の講演が非常に興味深く、クォーター制を取り入れた話など大変勉強になる講演だったことが報告された。

### 2. 次期委員について (任期 2023/4/1-2024/3/31)

○次期委員長

浜口委員または小林委員のどちらかに就任いただく予定で、後日、門委員長、浜口委員、小林委員で打ち合わせを行い決定する。

○来期の重任なしを希望

所委員

○任期満了の委員の後任

門委員長 → 帯広畜産大学 斉藤準先生 (物理教育委員会で夏学の実験実施担当者  
の一人)

野中委員 → 検討中

○オブザーバー

新規就任予定 門委員長、野中委員

継続予定 細越オブザーバー (関西科学塾担当の後任がいれば退任する)

現オブザーバーの留任については、ご本人の意向に沿う。事務局よりメールでご意向を確認する。

3. 委員会名称変更（規則の改定案作成）  
案の通り承認され、次回理事会に諮ることとした。
4. 関西科学塾（2023. 3. 18-19 のブースについて：細越委員）  
中本委員、服部委員が協力することが報告された。また、実験内容の検討の進捗について、液体窒素も使える会場であるため、液体窒素を利用した実験または、光関係の実験を検討しており、実験 TA を雇用する予定であることが報告された。
5. また、ノベルティグッズ提供依頼について、日本物理学会からは昨年と同じく「70の不思議」を提供することが決定された。
6. AAPPS-WIP 掲載のための活動報告資料作成について：野尻オブザーバー  
野尻オブザーバーより、経緯について以下の説明があった。  
今期より、AAPPS-WIP のチェアーに野尻オブザーバー、副チェアーに田島会長が就任した。若い世代にも参加してもらい、将来的にはチェアーも担ってほしいが、現状は web ページも整っていないため、各国の代表者名、顔写真、活動内容をまとめたものをホームページに載せたいと考えている。その掲載資料提供と、代表者選出をお願いしたい。

#### ○物理学会からの代表

現状、田島会長が引き受けてくださる予定だが、次期はダイバーシティ委員が担うほうがよいかもしれない。3年程度は関わっていただけると望ましい。

→委員には会長経験者を含める慣習があるため、永江元会長の後任が田島会長となるのであれば、田島会長にお願いしてもよい。

→田島会長に本委員会の次期委員に就任いただけるか改めて確認する。

#### ○web 掲載資料

小林委員作成の APPC15 発表用スライドを、web 掲載に合わせて修正して提出する。近日中に野尻オブザーバー、田島会長、門委員長、小林委員で打ち合わせを行う。発表用スライドは、以前委員会内で共有しているため、各委員からも何かアドバイス等あれば小林委員に寄せる。

7. 日本学術会議公開シンポジウム「物理学におけるジェンダーギャップの現状と対策・物理教育の役割」の案内（令和5年1月11日（水）13:00-17:00（日本学術会議講堂+zoom オンライン） <https://www.scj.go.jp/ja/event/2023/333-s-0111.html>

笹尾真実子先生より門委員長にパネル討論出席の依頼があったため、当委員会の活

動を含めて話す予定であることが門委員長より報告され、反対意見等ないことが確認された。

8. 春季大会ランチョンミーティング (2023/3/22-25(オンライン)講演者など検討:大島委員、岩崎委員)

以下のことが検討、決定された。

○日程

第一候補 : 3月23日(木) 12:30-13:20

第二候補 : 3月22日(水) 12:30-13:20

○登録名

男女共同参画推進委員会インフォーマルミーティング

(開催日は委員会名がダイバーシティ推進委員会へ変更後となるため、委員会名変更も話題に取り入れる。)

○若手への広報

検討の結果、大島委員が案内文を作成し、それを委員に共有して若手研究者の集まりにコネクションがある委員が配信依頼をすることとした。また、その案内文内に zoom の参加 URL を掲載することは不可であることが確認された。(インフォーマルミーティングは大会参加者のみ聴講可能なため。)

領域 ML → 事務局経由で領域代表に送信依頼

その他、若手の集まりなど → コネクションがある委員が適宜送信依頼

検討内容は以下の通り。

- ・若手夏の学校の関係者にメールやアンケート依頼を出すのはどうか。

→HP に記載の学生世話人の連絡先があるはず。

→大学が交代制で世話人を担当していると、もう担当者が変わっている可能性がある。

→物性夏の学校は物性研がスポンサーなので、物性研の方に聞いてみるといいかもしれない。

→その他、若手の集りがあったら大島委員に情報を提供し、大島委員が1つ1つ協力依頼をかけ、1月初めには内容を固めて案内を流すという対応はどうか。

→案内だけであれば文章を委員会内でシェアして、コネクションがある委員は流すという対応でも良いのではないか

→領域も若手賞などを審査、授与しているので、領域代表に依頼して領域 ML  
で送信してもらえれば、若手講演者に届くのではないかと。

○タイトル

(仮) 物理研究者のキャリアを考える

他候補：の生き方、進む道、物理屋さんの歩く道

その後、12/19 までのメール審議を経て「近未来の若手人材のキャリア・社会接点を考  
える」で登録することとなった。

○登壇者

未定

候補者への連絡を大島委員から委員に依頼する可能性があるため、協力依頼がされた。

8. その他

門委員長より、男女共同参画学協会連絡会からの連絡の共有、運営委員会参加報告がされ  
た。

資料：

資料 1\_78 期重任状況

資料 2\_資料 2-2\_男女共同参画推進委員会年間スケジュール

資料 3\_男女共同参画推進委員会規則\_変更案

資料 4\_日本学術会議公開シンポジウムポスター